



[発行] 中央区議会  
中央区築地一丁目1番1号  
[電話] 3543-0211(大代表)  
[中央区議会ホームページ]  
<https://www.kugikai.city.chuo.lg.jp/>

ちゅうおう —Chuo City Assembly—

# 区議会だより



第3回定例会



令和3年(2021年)  
No. 252

## 令和2年度各会計決算を認定

総額は、歳入決算額が1,708億9,002万9,689円、歳出決算額が1,665億7,841万4,605円となりました。(6・7面)

## 令和3年度中央区一般会計補正予算を可決

地域コミュニティ連携事業補助金の創設、飲食業団体・商店街における集客事業等への支援、新型コロナウイルス感染症患者の入院医療費の増額など、186億46万3千円を追加する補正予算案を可決しました。(8面)



黄金色に輝く銀杏～浜町公園前

### 主な内容

- 一般質問  
..... 2面～4面
- 委員会の活動  
..... 5面
- 決算特別委員会のあらまし  
..... 6面～7面
- 議案の審議結果  
..... 8面

### 第3回定例会の経過

- 9月22・24・27日 本会議
- 28日 企画総務委員会
- 29日 本会議
- 30日 区民文教委員会  
企画総務委員会
- 10月1日 福祉保健委員会
- 4～13日 決算特別委員会
- 15日 本会議

### 提出された議案

- ◆区長提出議案
- ・条例..... 9件
- ・予算..... 2件
- ・決算..... 1件
- ・契約..... 6件



区議会ホームページ  
をご利用ください!

中央区議会では、区議会の活動状況を広く区民の皆様にお知らせするため、ホームページを開設しています。会議録の検索や本会議および各委員会の日程などがご覧いただけますので、ぜひご利用ください。



# 一般質問の要旨

一般質問とは  
区の仕事全般について、区長等に報告や説明を求めることです。



立憲民主党新風会  
梶谷 優香

## 災害・防災対策について

**問** 災害救援型自動販売機である災害ベンダー機の、(1)区内公共施設内での設置は。(2)避難所・防災拠点となる施設への導入は。

**答** (1)本庁舎のほか、銀座ブロッサムなど一部の区施設で10台程度設置している。(2)区施設における自動販売機は、区の許可を受けた福祉団体等が設置しており、区が直接選定するものではないが、新規設置や入れ替えの際には、当該団体へ働きかけていく。

## 妊娠・出産から子育て環境の充実について

**問** 産後アドバイスや予防接種の自動案内等のタイムリーな情報を届ける母と子の健康モバイルサイトだが、(1)分かりやすい情報提供の強化・工夫は。(2)出産・子育て不安を解消するための、あのねママメールを無料通信アプリLINEへ移行する考えは。

**答** (1)近年、さまざまな情報サイト等が開発されており、母子保健情報の提供においてデジタルコンテンツのあり方全体を考え、検討する。(2)母と子の健康モバイルサイトの検討とあわせて、提供する情報の充実などを含め、研究していく。

**問** 窒息・誤嚥事故の予防に向け、(1)保育施設での節分行事に豆の使用の是非を検討すべきでは。(2)気道に異物を詰まらせたときの応急処置の対処法を乳幼児健診等の機会に指導する考えは。

**答** (1)伝統的行事に触れる機会は、子どもたちの健やかな成長や心身の発達において重要と考えており、小袋に入れた豆を用意するなど実施内容を工夫し、安全面に十分配慮していく。(2)現行の乳幼児健診の中での実技指導は、時間や場所の問題で困難なことから、毎年行っている子どもの事故予防講習会の中で実技講習を行い、妊娠届出時や訪問等の際には個別指導も実施している。今後も、あらゆる機会を捉えて事故予防の普及啓発に努めていく。



日本共産党中央区議会議員団  
小栗 智恵子

## 五輪開催中のコロナ第5波とPCR検査の拡大について

**問** 東京五輪大会の開催が、国民に誤ったメッセージとなり、人流が増え、感染爆発状況となったことについて区の考えは。

**答** 積極的疫学調査で新型コロナウイルス感染症患者と大会関係者との明らかな関連は認められなかったことから、開催による感染の影響はなかったものと考えている。

**問** 新規感染者が減少傾向にある今こそ、PCR検査をいつでも、誰でも、何度でも、無料で大規模に行うべきでは。

**答** 検査の効率やコスト等を踏まえ、現在は無症状者に対する大規模なPCR検査の必要性は乏しいと考えている。

## 気候危機打開の日本共産党2030戦略と区の行動計画について

**問** 中央区環境行動計画2018を見直す際は、CO<sub>2</sub>排出量を2030年度までに50%～60%削減する目標に引き上げるべきでは。

**答** 国の目標値を踏まえた数値に設定する必要があると認識。

**問** CO<sub>2</sub>排出量を何倍にも増やす巨大開発は止め、脱炭素化を強力に進めるまちづくりに転換することを求めるが区の考えは。

**答** 省エネルギー性能の高い建築素材や設備を導入した建物に建替え、都市全体でのエネルギー消費量は徐々に減少すると認識。

## 晴海地区の新設学校・公共施設用都用地購入について

**問** 都へ、晴海四・五丁目の都用地の無償提供を求めるべきでは。

**答** 都用地の売却価格は、本区がこれまで都に主張してきた内容も考慮された結果、減額が認められたものと考えている。

**その他質問事項** ①デルタ株拡大のもとでの保育、教育の保障について ②ジェンダー平等について



中央区議会自由民主党議員団  
瓜生 正高

## コロナ禍における地域経済の振興および事業者支援について

**問** コロナの収束を見据えながら、国や都が実施する消費喚起および景気浮揚を目的とした経済支援策に加えて、本区としても地域経済支援を戦略的に実施していくべきでは。

**答** 国や都の支援策の動向を踏まえながら、それらとの相乗的な効果をもたらす対策を総合的に検討し、区内経済の下支えに資するよう積極的に取り組んでいく。

**問** 効果的に区内経済を刺激し、空白期間を作らずに、来年度当初から速やかに経済振興策を実施できるよう、あらかじめ11月の補正予算でその道筋を明らかにする必要があるのでは。

**答** 来年度当初から支援策を講じられるよう、11月議会における補正予算の計上も念頭に入れ、今後の経済対策を検討し実施していく。そのため、関係団体との意見交換や各種経済指標などを踏まえ、区内事業者のほか、商店街や商工団体等に対する適切な支

援策の構築に向け、早急に検討していく。

## 介護を担う子ども・若年者の現状について

**問** さまざまな観点から人生の成長期と呼べる中学生、高校生、大学生が、ヤングケアラー<sup>\*1</sup>として自己犠牲を伴い、将来の選択肢を狭められている状況は社会のあり方としても歪んでいると考える。ヤングケアラーについて、正確な状況を把握する必要があると思うが、本区の見解は。

**答** 現在、要保護児童対策地域協議会において把握に努めているが、家庭内のデリケートな問題で表面化しにくいことや、社会的認知度が低く周囲が気付けないこともあり、正確な実態把握は難しい。今後は、研修会等を通じて、区の各福祉部門や学校、警察、民生・児童委員などの関係機関等の認知度向上を図りつつ、地域が一体となった見守り体制を構築し、状況の把握に努めていく。

**問** ヤングケアラーの具体的な支援策について本区の見解は。

**答** 今後、毎年小中学生に配布している、困ったときの相談先を記載したカード「相談してね」に、ヤングケアラーの相談窓口を明記するなど周知を図っていく。また、ケアラーが何に困っているのかは、それぞれの状況によって異なることから、関係機関と連携しながら、健康状態や生活環境に応じて必要なサービスを提供するなど、生活の改善に向けた適切な支援に努めていく。



中央区議会自由民主党議員団  
かみや 俊宏

## 感染症の危機を克服する行財政運営について

**問** 区行政のデジタル化についての基本的な見解と、社会情勢も踏まえ、特に力を入れて進めていく施策・取り組みは。

**答** 「区民に便利でやさしい区役所」実現のため、本年新たな情報化基本方針を策定。キャッシュレス決済の拡大、マイナンバーカードを活用した電子申請の拡充について全庁を挙げて検討中。

**問** 来年度の予算編成に向けた取り組みは。

**答** 感染症の拡大防止と地域活力を取り戻す取り組みの強化、区民生活や地域活動に関わる取り組みの着実な推進を図る。また、環境負荷の低減やICTを活用した効率化にも取り組む。

**問** 予算編成過程の公開等、さらなる情報発信を。

**答** 自分の納めた税の使い道の決定過程をわかりやすく発信することは、意義あることと認識。先行自治体の取り組みの把握に努め、わかりやすい情報発信について引き続き検討していく。

## グリーンリカバリーなまちづくりについて

**問** 浜町川緑道の大規模改修・再整備を。

**答** 浜町川緑道の再整備については、環境問題への対策を取り入れながら、地域の方々との協働で進めていきたいと考えている。

**問** 隅田川テラスの水辺環境整備も含め、日本橋東部地域で「水とみどりのプロムナード化・にぎわい創出」を。

**答** 護岸背後地の緑の充実等により、テラスと一体となったプロムナード化を進めている。都は、日本橋東部地域を「にぎわい誘導エリア」に位置づけ、官民が連携したイベントなどを実施。区は、都や関係機関と連携し、テラスの活用など、アフターコロナにおけるにぎわい創出に積極的に取り組んでいく。

**問** ナウマンゾウの化石・「浜町標本」の活用を。

**答** 来年12月開設予定の「本の森ちゅうおう」において、デジタルアーカイブし、郷土資料館で展示等をする。また、来街者等への紹介の環境が整った際に、観光協会と連携し、まち歩きルート上への組み込みなどの具体化に向け積極的に検討する。

## 久松幼稚園の移転について

**問** 関係者の方々への説明と反映した意見は。

**答** 久松幼稚園、同小学校、常盤小学校の校友会や住民に全17回説明会を開催するほか、両校の通学区域に居住する未就園児がいる約880世帯に個別の文書を送付。意見の反映については、異年齢交流や兄弟姉妹で通園する保護者負担軽減の観点から、全学年を一括移転させるようスケジュールの見直しを行った。

**問** 小学校の増改築、近接地の活用、敷地内の公園付け替え対応等、地域のご意見に対する検討経緯は。

**答** 学校敷地内・近接地の活用を検討したのち、教育委員会が保有する施設の活用を検討した結果、同じ日本橋地域に位置する休園中の常盤幼稚園スペース等への移転が適切と判断した。説明会では、近接民有地の小学校利用について提案を受けたが、学校運営に支障をきたすことから、当初の方針を進める結論に至った。

**問** 久松・常盤の歴史・伝統を大切にしたい園名・通称を。

**答** 久松幼稚園の移転であり、そのままの名称使用を考えている。一方、休園中である常盤幼稚園の園舎を活用することから、「常盤園舎」という名称も併せて使用する方向で検討している。

**問** 移転に係る現実の問題認識、対策の検討状況は。

**答** 通園方法は、添乗員を配置したバス運行を予定。久松小学校との連携は、通園バスを活用した直接的な交流やオンライン交流の実施を検討中。併せて常盤小学校との連携も充実させていく。

**問** 移転は「仮移転」のイメージとし、久松地域へ戻るべきでは。

**答** 久松小学校の今後の児童数の需要が満たされ、教室数に余裕が生じれば、久松幼稚園が再び戻ることについて、保護者や地域の方々へ説明している。今後の人口推計や地域の状況等を見据え、適切な時期に久松地域に再整備できるよう検討を継続していく。

**その他質問事項** デジタル時代の質の高い教育の実現について



かがやき中央  
青木 かの

## 舟運の活用について

**問** 日常的な交通手段としての舟運の活用は。

**答** 活用は有効であり、引き続き都の社会実験等に協力していく。

## 交通結節点の整備について

**問** 空路の活用イメージも含め、築地の交通結節点の役割とは。

**答** 人や物のスムーズな移動を支え、災害時には都心の防災活動拠点として、緊急車両や船舶、ヘリコプターによる人員・物資の輸送等の救助活動に資する。都は市場跡地に国際会議場等の整備も想定しており、海外からの来訪者による空路利用も想定される。

## 公共交通のデジタル化について

**問** 今後の公共交通モビリティのデジタル化について見解を。

**答** 国が進める自動運転実証実験などの新技術が公共交通に活用される認識である。公共交通のデジタル化に関する新技術の動向を注視し、積極的な活用が図られるよう関係機関へ働きかける。

**その他質問事項** ①地域モビリティの再構築について②BRTの改善策について



かがやき中央  
高橋 元気

## 子どもファーストのまちづくり・予算編成について

**問** 計画では、令和4年度に待機児童ゼロを実現するとしているが、需要の大きい0歳児から2歳児までの待機児童解消は可能か。

**答** 本年度は新規開設2園を含め、397名の定員を確保できる見通しであり、待機児童の解消は達成できるものと認識している。

**問** 第2子以降の保育料の無料化や、認可外保育所に預ける家庭

へのさらなる助成等、手厚い助成制度の創設について区の考えは。

**答** 国の制度に基づき第2子は半額であり、無償化は考えていない。本区では認可保育園の整備により待機児童解消を目指しており、認可外保育施設の利用者へのさらなる助成を行う予定はない。

**問** 高校生も子ども医療費助成の費用無料の対象にする考えは。

**答** 高校生まで助成対象年齢を拡大することは、将来的な財政負担や医療費の増加による各種保険制度への影響を考慮しなければならず、慎重に検討していく必要があると認識している。

**問** 積極的に里親制度への登録を推奨していくべきと考えるが、(1)現在の里親制度登録者数は。(2)取り組みと今後の方向性は。(3)ショートステイ里親制度、ボランティア里親制度の導入の考えは。

**答** (1)4家庭。(2)健康福祉まつりで養育家庭の体験発表会を実施するなどしており、今後も広く制度の周知に努める。(3)現行の養育家庭制度や「子どもショートステイ」で対応はできている認識。



中央区議会公明党  
墨谷 浩一

## 新型コロナウイルス感染症対策について

**問** 医師会、薬剤師会などとの連携で地域ぐるみで自宅療養者を支える仕組みのオンライン診療等を強化すべきでは。

**答** 電話・オンライン診療は、軽症者対応が中心となるため、さらに病状が悪化した場合には、往診や軽症・中等症対応病床など他の医療資源が必要。区としては、都へのさらなる新型コロナウイルス感染症対応病床の拡大を要望するとともに、医師会等関係機関との連携により、自宅療養を支える体制強化に努めていく。

## 命を守るがん対策について

**問** 国の計画に「がん教育、がんに関する知識の普及啓発」が盛り込まれたが、本区のがん教育について現状と今後の取組課題は。

**答** 小学校では、長期にわたる喫煙で「がん」にかかりやすくなることに触れるほか、中学校では、「生活習慣病などの予防」の中で「がん」について学習している。特に、中学校2校では、国立がん研究センターから医師を招いて講演会を開催しており、こうした取り組みは、令和4年度までに全中学校で実施予定である。今後とも、命と健康の大切さを育む教育の推進に取り組む。

## 高齢者施策の充実について

**問** デジタルデバインド<sup>※2</sup>の是正に向けた取り組みについて見解は。

**答** 敬老館でのスマートフォン講座などを実施しており、都の事業も活用しながら回数や内容の充実を図っていく。また、デジタル機器の利用に関わらず、区民が安心して生活できる区を目指す。

## 道路陥没対策について

**問** (1)緊急車両や輸送車両の安全な通行のため、大規模災害時には路面下空洞緊急調査が必要では。(2)速やかな調査を実施するため、路面下空洞調査会社との災害協定の締結が必要では。

**答** (1)予防保全として、毎年路面下空洞調査を実施。発災後は、区道では障害物の除去を優先し、必要に応じて空洞調査を実施。(2)道路の被災状況などにより対策が異なるため、必要性を検討する。

## 食品ロス削減対策について

**問** (1)家庭での取り組み、飲食店、企業などの取り組みについて、本区の特性に合った施策の拡大が必要では。(2)本区の食品ロス削減推進計画の策定について早期に整備が必要では。

**答** (1)家庭には、「ごみと資源の分け方・出し方」等を通じて普及啓発を進める。飲食店には、食品ロスの削減方法の周知や、「食べきり協力店」として認定する制度を検討。企業には、講習会等にて削減に役立つ最新情報の提供や、フードバンク等の周知をしていく。(2)次回の「一般廃棄物処理基本計画」の改定時に策定する。



中央区議会区民の風  
山本 理恵

## 東京2020大会の総括について

**問** 本区は東京2020大会にどのような形で関わることができたのか。また、どのように本区の将来の発展につなげていくのか。

**答** 区民団体等のパフォーマンス動画の公開や選手達とのメッセージのやり取りなど間接的に関わる機会を可能な限り設けた。選手村では、アサガオや折り鶴ウェーブのオブジェの展示によりお迎えするなど、おもてなしの取り組みを提供することができた。これらを、スポーツ参加意識の向上や共生社会の実現、新たなインバウンド対策等、大会レガシーとして継承・展開していく。

**問** オリンピック・パラリンピック教育の成果と今後の取り組みは。

**答** テレビ観戦から、国や国籍を超えて選手が称え合い励まし合う姿や、障害を乗り越え挑戦する姿を通して、共生社会の一員としての資質が深まったと認識している。今後は、教育的効果が高く継続できる取り組みを「学校・幼稚園2020レガシー」として、各学校・幼稚園の特色ある教育活動と位置付け展開していく。

## 2040年を見据えた 中央区のまちづくりについて

**問** (1)2040年に想像される本区のまちの姿とまちづくりの課題は。(2)高齢者が元気に暮らせるよう、都市政策と福祉政策をつなぐまちづくりの方向性を明確に打ち出していくべきでは。

**答** (1)価値観やライフスタイルの多様化が一層進む中、ライフステージや個人の属性に応じて選択できる住み、働き、憩う場を備えていくことが求められていると考えている。(2)ユニバーサルデザインの推進、交流の場が確保された安心で快適な歩行空間の形成など、社会参加の促進につながるまちづくりを進めていく。

**問** まちに人々が集い憩い多様な活動を繰り広げられるウォーカブルなまちづくりを推進するお考えは。超高齢社会における都市空間のあるべき姿について、区の見解は。

**答** 今後のまちづくりにおいては、まちなかの空間をネットワーク化し、多様な活動やコミュニティが生み出されるよう促していくことが重要と考えており、高齢化社会という観点からも一層重視していくべきと考えている。さらには、豊かな水辺環境を通じてネットワークを広げ、地域特性に応じた交流の場や憩いの場の形成と回遊性の向上を目指し、都心中央区の魅力を味わえ、高齢者にとっても快適なウォーカブルなまちづくりを推進していく。

### その他質問事項

中央区におけるコロナウイルスワクチン接種の進捗状況について

### ※1 ヤングケアラーとは？

家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている18歳未満の子どものこと。

### ※2 デジタルデバインドとは？

インターネットやパソコン等の情報通信技術を利用できる者と利用できない者との間に生じる格差のこと。

## 区議会のインターネット中継(録画中継)をご利用ください!

中央区議会では、開かれた区議会の一環として、一般質問および区長所信表明の録画映像をインターネットで配信しています。録画映像は、本会議終了後、おおむね6日後(土・日・祝日・休日を除く)からご覧になれます。区議会ホームページもしくは右のQRコードからアクセスできます。



本議会の発言内容は会議録に収録され、後日、本庁舎情報公開コーナーおよび区立図書館に備えますので、そこで閲覧することができます。また、区議会ホームページにも掲載しますのでどうぞご利用ください。

# 委員会の活動（令和3年7月～10月）

## 常任委員会

### 企画総務

#### 〔議案の審査〕

- ◆令和3年度中央区一般会計補正予算
- ◆令和3年度中央区介護保険事業会計補正予算
- ◆中央区個人情報保護に関する条例の一部を改正する条例  
ほか8件

#### 〔主な報告事項〕

- ◆月島三丁目北地区第一種市街地再開発事業に伴う資産の取得について
- ◆育ちの相談・サポート機能等の充実にに向けた施設の再編整備について
- ◆令和3年度都区財政調整の概要について  
ほか6件

### 区民文教

#### 〔議案の審査〕

- ◆中央区立区民館条例の一部を改正する条例
- ◆中央区立小学校及び中学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例

#### 〔主な報告事項〕

- ◆久松幼稚園移転スケジュール等の見直しについて
- ◆特認校における学級編制の拡大について
- ◆区民施設の指定管理者の評価結果について
- ◆豊海区民館の位置の表示の変更について
- ◆一般社団法人 中央区観光協会の運営状況について
- ◆教育センター機能の拡充と福祉部門との連携強化について  
ほか5件

### 福祉保健

#### 〔議案の審査〕

- ◆中央区特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準等に関する条例の一部を改正する条例
- ◆中央区女性福祉資金貸付条例の一部を改正する条例  
ほか2件

#### 〔主な報告事項〕

- ◆私立認可保育所の開設支援について
- ◆社会福祉法人 中央区社会福祉協議会の運営状況について
- ◆女性福祉資金貸付金限度額の改定等について
- ◆公益社団法人 中央区シルバー人材センターの運営状況について  
ほか4件

### 環境建設

#### 〔主な報告事項〕

- ◆令和2年度江戸バス乗車実績等について
- ◆銀座・築地周辺みどりのプロムナード構想の策定について
- ◆中央区駐車場駐輪場長寿命化計画の策定について
- ◆令和2年度中央区役所温室効果ガス排出量等について
- ◆環境マネジメントシステムの運用について
- ◆まちづくり協議会の報告
- ◆築地市場跡地の暫定貸付について
- ◆令和2年度ごみ量及び資源回収量について
- ◆一般財団法人中央区都市整備公社の運営状況について
- ◆区の保有する債権の放棄について  
ほか3件

## 特別委員会

### 築地等地域活性化対策

#### 〔主な報告事項〕

- ◆キャッシュレス決済ポイント還元事業の実施結果について
- ◆銀座・築地周辺みどりのプロムナード構想の策定について
- ◆まちづくり協議会の報告
- ◆築地市場跡地の暫定貸付について
- ◆区民施設の指定管理者の評価結果について
- ◆築地魚河岸入居者に対する支援について

### 子ども子育て・高齢者対策

#### 〔主な報告事項〕

- ◆久松幼稚園移転スケジュール等の見直しについて
- ◆特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業における書面等の電磁的方法による対応について  
ほか3件

### コロナウイルス・防災等対策

#### 〔主な報告事項〕

- ◆新型コロナウイルス感染症への対応について
- ◆キャッシュレス決済ポイント還元事業の実施結果について  
ほか1件

### 東京2020大会・晴海地区公共施設整備対策

#### 〔主な報告事項〕

- ◆東京2020オリンピック聖火リレー及びセレブレーションの実施形態の変更について
- ◆東京2020大会関連事業の見直しについて
- ◆東京2020大会における本区の主な取組等について  
ほか2件

## 区議会だよりはアプリでも！

中央区議会では、スマートフォンやタブレット端末を活用し、いつでもどこでも「ちゅうおう区議会だより」をご覧いただけるよう、「マチイロ」での配信を行っています。

#### 〔利用方法〕

QRコードからダウンロードし、「お住まいの地域」を「東京都中央区」に設定してください。

◎アプリのダウンロードは無料ですが、接続料・通信料は利用者負担になります。

◎アプリの画面には運営者が製作する広告が表示されますが、中央区議会とは一切関係ありません。



# 決算特別委員

## 決算特別委員会の設置

決算特別委員会は、9月29日の本会議において委員14名をもって設置され、令和2年度中央区各会計歳入歳出決算の認定について、付託を受けました。

本会議散会后、議長招集による初の委員会が開会され、委員長には海老原崇智委員が、副委員長には堀田弥生委員が選出され、即日就任し、本委員会の構成が行われました。

## 決算特別委員会委員

【◎委員長 ○副委員長】

◎海老原 崇智 (自由民主党)	青木 かの (かがやき中央)
○堀田 弥生 (公明党)	高橋 まきこ (かがやき中央)
磯野 忠 (自由民主党)	田中 広一 (公明党)
塚田 秀伸 (自由民主党)	山本 理恵 (区民の風)
佐藤 あつこ (自由民主党)	渡部 恵子 (新風会)
竹内 幸美 (自由民主党)	小栗 智恵子 (日本共産党)
太田 太 (自由民主党)	二瓶 文徳 (未来会議)

## 令和2年度各会計歳入歳出決算額

	歳入 決算額	前年度比較		歳出 決算額	前年度比較		差引額
		増減額	増減率		増減額	増減率	
各会計歳入歳出 決算総額	1,708億 9,002万9,689円	441億 5,722万1,884円	34.8%	1,665億 7,841万4,605円	431億 3,650万2,506円	34.9%	43億 1,161万5,084円

### ◆各会計の内訳

	歳入 決算額	前年度比較		歳出 決算額	前年度比較		差引額
		増減額	増減率		増減額	増減率	
一般会計	1,462億 7,764万1,114円	440億 1,490万9,677円	43.0%	1,425億 5,954万2,559円	431億 5,226万1,804円	43.4%	37億 1,809万8,555円
国民健康保険 事業会計	127億 2,096万9,889円	△1億 1,460万2,706円	△0.9%	125億 776万6,301円	△1億 5,999万5,774円	△1.3%	2億 1,320万3,588円
介護保険 事業会計	89億 2,653万3,304円	1億 8,879万9,125円	2.2%	85億 6,432万8,768円	7,130万7,600円	0.8%	3億 6,220万4,536円
後期高齢者 医療会計	29億 6,488万5,382円	6,811万5,788円	2.4%	29億 4,677万6,977円	7,292万8,876円	2.5%	1,810万8,405円

# 各会計決算に対す

## 中央区議会自由民主党議員団 **賛成**

- ◆生活様式が大きく変容し行政需要が拡大する中、豊かな区民生活を守り、区内経済を回復軌道に乗せる、積極的かつ柔軟な施策の実行。
- ◆長期展望に基づく都市空間整備や交通網充実に資する施策実現と共に、住み続けたいと思ってくれる魅力的で安全な街づくりを強化。
- ◆区民ニーズを捉え多様化する要望に即した、総合的な子育て支援、教育環境の整備、地域活動奨励、高齢者施策の充実等を着実に推進。

## かがやき中央 **賛成**

- ◆開かれた区政・コミュニティの実現のために窓口の一本化やデジタル化を進め、誰でも関わるができるように、より広い連携を。
- ◆運動や読書、教育、保育や相談支援の機会均等を図り、あらゆる予約キャンセルをオンライン化し、利便性向上と資源の有効活用を。
- ◆晴海、築地、日本橋首都高地下化など未来へ向けた都市基盤整備において舟運等の交通網整備とクリーンで安心安全なまちづくりを。

## 立憲民主党新風会 **賛成**

- ◆複雑・多様化する行政需要に応えるため特別区民税など収納率向上・収入未済の解消・自主財源の確保・受益者負担の適正化を。
- ◆「基本計画2018」で設計した全事務事業に、効率的・効果的な行政運営推進にPDCAマネジメントサイクルを。
- ◆「中央区公共施設個別施設計画」が示す将来コストの低減・平準化に要する整備基金減額を回避し公的補助制度を活用した財政運用を。

## 日本共産党中央区議会議員団 **反対**

- ◆コロナ禍で困難を極めている区民や中小企業への支援が不十分。
- ◆気候危機を招くCO<sub>2</sub>排出量を増大させるまちづくりは問題。
- ◆PCR検査や医療機関への支援を強化したコロナ対策を。
- ◆子どもの尊厳を大切に教育へ、教員の多忙化の解消を。
- ◆ジェンダー平等に向けて、従来の枠を超えた取り組みの強化を。
- ◆都の「築地まちづくり方針」の再考を求めるべき。

# 会のあらまし

## 10月4日 決算特別委員会



### 審査の概要

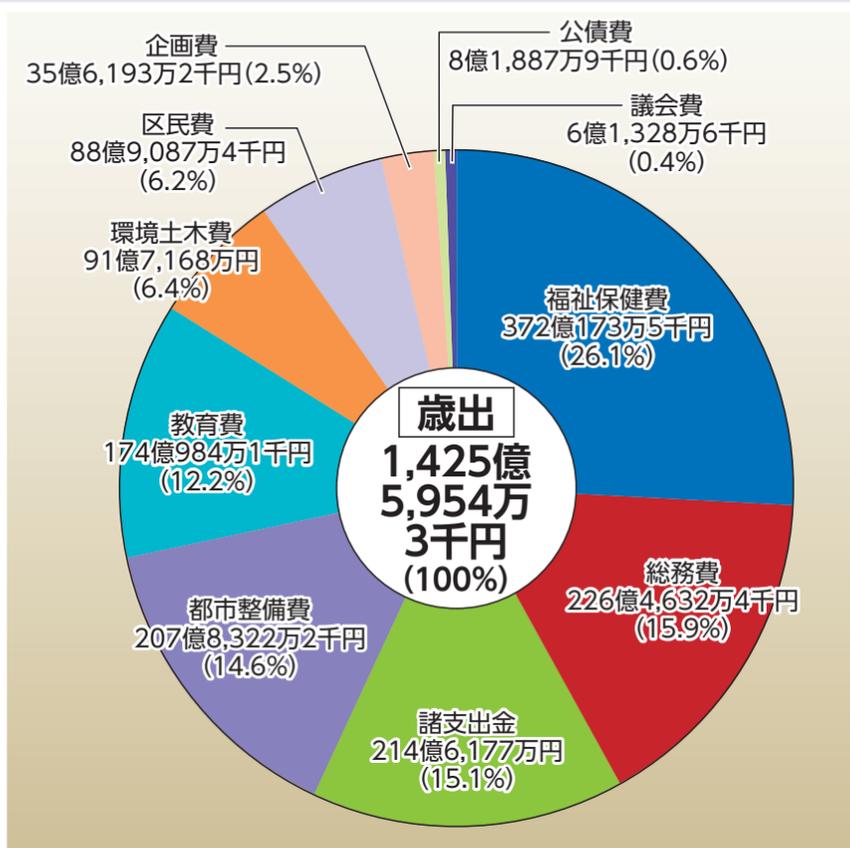
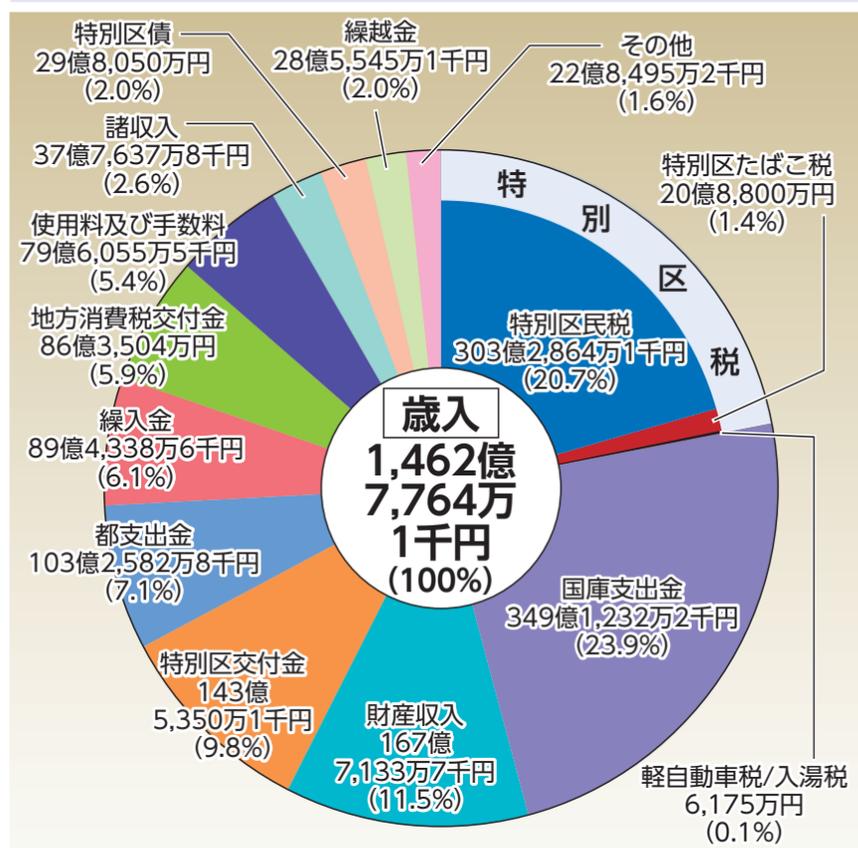
令和2年度における本区財政は、人口増加基調が続いているものの、ふるさと納税によるマイナス影響が引き続き懸念されるなど、依然、予断を許さない状況のもと、拡大かつ多様化する行政需要や区民ニーズに対し、可及的速やかな施策の対応が求められたところであります。

本特別委員会は、決算認定の審査に当たり、これらを踏まえ、本区の行政運営が限られた財源と権能の中で、区民の要望と意向を捉えつつ、区民の福祉向上のために、いかに適正かつ効果的に予算執行がなされたか、かかる観点から、去る9月29日の本会議での付託以来、延べ10日間にわたり慎重に審査を行いました。

10月4日には、まず一般会計歳入より質疑を開始し、次に一般会計歳出、続いて国民健康保険事業会計、介護保険事業会計及び後期高齢者医療会計の各歳入歳出を一括して質疑し、最後に総括質疑を行い、10月13日には全ての審査を終了しました。

さらに、同日に各会派の態度表明が行われ、最後に各会計歳入歳出決算の認定について、起立多数で認定すべきものと決しました。

## 令和2年度一般会計歳入歳出決算の内訳



数値については、単位未満を四捨五入してあるため、総数と内訳の合計が一致しない場合があります。また、構成比(%)については、端数調整をしているため、合計とは一致しない場合があります。

## 各会派の態度表明

### 中央区議会公明党

賛成

- ◆感染症と向き合う中、歴史の視点から多くの教訓が得られ、災害に対する「準備」を常に怠ることなく防災対策を強化していくべき。
- ◆今後も経済対策や生活支援策を実施し、心理カウンセリングや相談業務の拡充と周知、子ども読書活動の推進など一層の充実を要望。
- ◆事業改善や創意工夫により、地球温暖化防止対策強化やスポーツ施設確保、障がいのある方々への配慮も含めた各福祉施策の充実を。

### 中央区議会区民の風

賛成

- ◆令和2年度予算は、予測困難なコロナ感染症の世界的流行に伴い東京2020大会は開催延期となり、感染症対策や緊急経済対策等に要する補正予算が9回編成された年度。コロナ危機を乗り越えるための施策や感染拡大により顕在化した新たな課題への取り組みを評価。区民の暮らしを守り、地域の活力を取り戻す効果的な施策展開により、区民の信頼と期待に応える行政サービスの提供を望む。

### 中央未来会議

賛成

- ◆コロナ禍で行えなかった、各種事業やイベントを再開する際には、安心安全かつ、より一層有意義なものへと。
- ◆健全で柔軟な行財政運営に努め、多様化するニーズを的確に捉え、より一層区民に寄り添った行政サービスを。



